

サテライト会場等の選定方針（案）

第4回全国植樹祭福島県準備委員会

1 サテライト会場等の選定の流れ（案）

＜基本的事項＞

- サテライト会場、PR会場については、全国植樹祭福島県準備委員会で選定する。具体的な箇所は、開催県の決定及び式典会場の決定後に策定する基本計画で記載する。
- 一部の関連事業の会場については、全国植樹祭福島県準備委員会で設置の想定されるエリアを選定する。具体的な内容・会場は、主催者団体等と関連事業のスケジュールに合わせて協議調整を図る。

＜準備委員会での進め方＞

- 第4回準備委員会ではサテライト会場及びPR会場の選定条件案、並びに関連事業の会場の想定される条件案について意見を伺う。
- 第5回準備委員会において、サテライト会場、PR会場、関連事業の想定エリアの選定を行う。

＜各会場の検討方法＞

- サテライト会場、PR会場等の選定に当たっては、各会場（関連事業は想定エリア）の地域バランス（中通り、浜通り、会津）及び各会場の条件を考慮し、総合的に検討する。

2 サテライト会場

(1) 趣旨

多くの方が植樹活動に参加できるようサテライト会場を設ける。

(2) 内容

- 全国植樹祭式典と同日に行う。
- 参加者による植樹活動や大型スクリーンによる同時中継、アトラクション、展示、県産品の販売などを行う。
- 参加者をおもてなしする広場を設ける。

選定条件（案）

以下のすべてを満たすこと。

- 1,000人程度が植樹活動できる植樹場所が確保できること。
- 県内の式典会場周辺以外の地域からのアクセスが良いこと。
- コスト及び人員が大きुकかからないこと並びに全国植樹祭としてのまとまりを感じることができるところを踏まえ1か所とすること。

3 PR会場

(1) 趣旨

式典会場やサテライト会場参加者以外の方にも全国植樹祭の開催意義や豊かな森林を未来へ継承する取組を伝えるため、多くの方に全国植樹祭を楽しんでいただけるようPR会場を設ける。

(2) 内容

地域と連携を図りながら、同時中継、展示、県産品の販売などを行う。

選定条件（案）

以下のすべてを満たすこと。

- 駅周辺などの県内外の方が立ち寄りやすい場所で、PR効果が高いこと。
- コスト及び人員が大きुकかからないこと。
- 市町村などの協力が得られること。

4 関連事業の会場

(1) 趣旨

全国植樹祭の併催事業として開催される全国林業後継者大会や全国植樹祭の関連事業としてふさわしい行事などを行う。その会場は、主催団体と互いに連携して設ける。

(2) 内容

- 全国林業後継者大会^{※1}
- 全国植樹祭の関連事業としてふさわしい行事^{※2}

全国林業後継者大会会場の想定される条件（案）

- 全国林業後継者大会は、全国植樹祭の前日に開催されるのが慣例となっているため、全国植樹祭式典に参加できるように、式典会場へのアクセスが容易であり、周辺に宿泊場所が確保できること。
- 林業・木材産業が盛んであること。

※1 会場の想定される条件は、エリア（方部）を想定するためであり、具体的な会場については、平成28年の開催決定後に主催団体と協議調整を図っていく。

※2 今後、実行委員会において、調整していく。